

遥々来たぜ函館

「♪～上野発の夜行列車下りた時から 青森駅は雪の中～♪」石川さゆりの「津軽海峡冬景色」にあるように本州最北にある青森県。ここから（北）は（海）であり（道）がないため電車も車もストップだ。北・海・道へは青函連絡船で函館まで船旅となる。1908（明治 41）年から 1988（昭和 63）年までの間、国鉄・JR としての鉄道連絡船であった。更に歌の続きに「♪～北へ帰る人の群れは誰も無口で 海鳴りだけがきいている～♪」私の北海道出身の友人がこの歌詞の通りですといったことを鮮明に覚えている。

そして「♪～はるばるきたぜ函館～♪」北島三郎の「函館の女」だ。北海道の玄関口・天然の良港を持つ函館は、人口約 26 万人の道南地域の中心都市である。

過去からそうであったようにこれからも北海道の発展に欠かせない都市が函館であろう。この函館も時代と共に大きな交通網が整備されている。それが北海道新幹線だ。青森市から旭川市まで結ぶ計画がなされており、まず 2016（平成 28）年 3 月 26 日には新青森駅—新函館北斗駅が開通する。全てが開通すれば北海道旭川市から九州鹿児島市まで新幹線が連なることになる。これらの交通網は政治、経済、社会、生活の面あらゆる面で大きな発展への変化をもたらすであろう。就中、北海道の発展にこれまでにない期待が寄せられている。

豊かな歴史を誇る函館。限りない魅力を持つ函館。また行きたい街のひとつだ。



撮影 2015 年春



